

新型コロナウイルス感染症5類移行後、 初めての敬老会が開催されました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



9月18日の敬老の日、健育会グループ恒例イベントの「敬老会」が開催されました。新型コロナウイルス感染が拡大したこの3年間は、万全の感染対策をしながら、規模を縮小しご家族の参加も制限したうえでの開催でした。今年は、新型コロナも5類に移行したこともあり、一部感染が発生した施設を除き、4年ぶりにご家族も参加し、コロナ前と同じ開催をすることができました。

敬老会は、普段なかなかお見舞いに来ることができないご家族にもお越しいただき、患者さんとの楽しいひとときを過ごしていただきたいの思いから開催しています。コロナ禍の開催となったこの3年間は、ご家族の参加が叶いませんでした。今年は本来の敬老会の趣旨の通り、ご家族にも参加いただいた大変良い敬老祭となりました。また、今年は「愛情を持って親身な対応」をキャッチフレーズにしています。職員のみなさんは、敬老祭で患者さんやご利用者をご家族と直接接する様子を見て、改めて、「愛情を持って親身な対応」について考える良い機会になったのではないかと思います。

敬老会大賞

病院部門・施設部門

大泉学園複合施設

(ねりま健育会病院・ライフサポートねりま)

【選定理由】

職員が一丸となって患者さんご利用者、ご家族をおもてなしするという姿勢が随所にみられた、愛情を持って親身な対応が実践できている敬老会であったため。



各施設での開催の様子をお伝えします。

竹川病院



今年の敬老会は、完全に新型コロナウイルス感染症の影響を排除する事が出来ない中での開催となってしまいましたが、以前のようなイベントを再開できないか模索をした敬老会となりました。

まず、5Fリハビリ室をメイン会場とし、昨年大好評を頂いた回復期ならではの患者さん参加型のイベントを実施しました。障害スポーツを含めた6種類のゲームを設置してゲーム大会を開催。射的、ポッチャ、釣りのイベントや、当院職員が制作した特製神輿の前で記念写真の撮影大会を行い、大いに盛り上がりました。さらにイベントでは、リハビリ職員によるハンドベル演奏、そして、これまで自粛をしていたソーラン節を4年ぶりに復活させ、患者さんの目の前で披露させていただきました。目の前で踊り舞う職員の姿に患者さんより拍手や盛大な拍手をいただきました。9月に入っても猛暑が続いている状況から、かき氷を提供させていただきましたが、大変好評で「お祭り気分ピッタリ」と患者さんからお声をいただきました。



病棟では賀寿のお祝いをさせていただきました。今年は80歳から最長寿までの計15名の患者さんに対して、当院原田院長より患者さんへ直接表彰状と記念品をお渡しさせていただきました。賀寿を迎えられた患者さんのご家族は、感染対策を徹底した上で家族団らん面会を実施。いつもより時間を延長してご家族との時間を過ごしていただきました。記念に家族写真を撮らせていただきましたが、いつもに増して朗らかな患者さんの笑顔、安心されたご家族の笑顔がとても印象的でした。

熱川温泉病院



新型コロナウイルス感染症の流行から昨年までの間、感染防止のため当院敬老会はイベントの様態をライブ中継で病棟へお届けしてご覧頂いておりました。しかし、今年は制限緩和もあり、4年ぶりにご家族をご招待して1Fロビーに入院患者さんと一緒にご観覧頂く形で開催することができました。また、引き続き当日参加できなかったご家族向けにYoutubeのライブ配信を通じてイベントの様態をご覧頂きました。

病棟での昼食会は『敬老の日・お祝い御膳』を用意しました。メニューは「お赤飯、海鮮天ぷら、金目鯛の茶碗蒸し、冷し鉢、水羊羹」。栄養科職員が丹精込めて作ったお料理を皆さん美味しく召

し上がっていました。またイベントでは恒例の保育所児童による『おんせんたまご 懐メロダンスメドレー』のあと、100歳を筆頭に90歳以上26名の方を対象にご長寿表彰式を行いました。さらに『REI マカ・ロア 祝賀のフラ』、職員による出し物『リハ職員5名によるリハビリ体操「BTS Dynamite」』、『新人看護職員4名によるダンス「愛のしるし」』、『管理職出演「寸劇 水戸黄門」』の披露と続ききました。入院患者さんにはイベントを直接観覧頂きながら、ご家族と楽しい時間を過ごして頂きました。また病院職員も久しぶりに皆さんの前で出し物を披露する機会となり、事前の稽古の成果を発揮しながらの力の籠ったステージとなりました。



今年の敬老会は、ご家族の来院・受入れについては、2名迄とし、敬老会運営職員が中心となって、患者さんに喜んでいただける企画・運営を心掛けました。

式典は、最高齢104歳から喜寿77歳までの計12名の患者さんが対象でしたが、当日会場に参加できた患者さんは10名となりました。ご長寿の患者さんのご紹介に合わせて、手作りの紀章と記念品を贈呈し、院内保育園の園児達から、お祝いのダンスを届けました。園児達の元気な姿を見て患者さんの顔も自然とほころびました。また、ご家族からの祝辞とお便りを職員が代読しご紹介させていただきました。今年度も昨年同様、患者さんの安全を第一に考え、終始和やかな雰囲気の中、ご長寿のお祝いを開催することができたと思います。



催し物としましては、外部ボランティアの方々による「すずめ踊り」の演舞を披露させていただきました。踊り手の皆さんの華やかな舞と熱気に魅了され、患者さんと職員が一緒になって、大きな拍手を送りました。

また、今年の食事は患者さんへ特製のお祝膳として、生ちらし寿司、煮しめ、茶碗蒸し、フルーツポンチの盛り合わせ、蟹つみれの清汁を、当院栄養科より真心込めて提供させていただきました。大変お喜びいただけたものと思います。

なお、今年度も式典会場より各病棟へLIVE中継を行いましたので、参加出来なかった患者さんにも楽しんで頂けたものと感じております。また、会場における患者さんの記念撮影については、今年はマスクなしとさせていただきます。

いわき湯本病院



9時からご長寿の皆さん5名（98歳3名、100歳1名、105歳1名）に院長・ディレクター・看護部長がそれぞれのお部屋に伺い記念品の贈呈をおこないました。各階師長は職員とともに各部屋をまわり記念品をお渡しし、事前にご家族にお願いし、送っていただいていたメッセージカードを読み上げお渡ししました。

10時30分からのステージイベントは本来であれば外来スペースに患者さんをお連れし、ご家族の皆さんもお招きして行う予定でしたが、1階病棟で新型コロナウイルス感染症が発生していたこともあり、談話室と2階リハビリ室に会場をわけ、2階患者さんを談話室、3階患者さんをリハビリ室にご案内してスタート。ボランティアさんによるギター演奏（川の流れるように、上を向いて歩こうほか）、カンボジアの技能実習生によるダンス「私たちのお国の踊りを見てください」やいわき湯本病院フラガールによる「アロハ」

を披露し、入院患者さん楽しんでいただきました。

12時からは刺身や天ぷらなど栄養科職員が腕を振るった敬老祭特別食を召し上がっていただき、大いに喜んでいただくことができました。



患者さんからのご希望もあり、初めて屋外での開催となりました。40名以上の職員が一丸となってテントを25張立てるという大掛かりな準備から始まり、ご家族へのお土産に用意した「はなカフェ」で患者さんが召し上がっているパンを可愛くラッピングする職員もいて、チームみんなで準備を行いました。

11時から最高年齢者の表彰式を各病棟で行い、表彰された5名の患者さんと一緒にお祝いしている患者さん、職員から笑顔が溢れていました。その後、開会式の様子を全館に中継し生駒副理事長の挨拶、調理長の食事紹介などで盛り上がりました。

お食事は「花川特製海鮮ちらし」に「4種の茸の味噌汁」「具たくさん茶碗蒸し」「甘酢生姜の酢の物」「季節の果物 ぶどう」と豪華なメニューに患者さんの幸せホルモンがたくさん溢れているのが伝わってきました。



患者さんにとって久しぶりに外へ出でのイベントでは、「なると屋」さんのキッチンカーに来てもらい「ザンギ」と「ポテト」をつまみながら、ご家族との団らん。デザート（?!）には職員が作った「綿あめ」を頬張りました。また、アトラクションとして、「輪投げ」「射的」「ガラポンくじ」に参加して楽しいひと時を過ごした後は、お待ちかねの「花川神輿」とよさこい「健龍嵐舞」のショーで会場はご家族も一緒に大盛り上がりとなりました。最後に雨が降ってきましたが、テントを移動して通路を作るなどで臨機応変に対応し、それもまた楽しい思い出となりました。

大泉学園複合施設 ねりま健育会病院/ライフサポートねりま



今年の敬老会には4年ぶりに患者さん・ご利用者のご家族をご招待することができました。患者さん98名・ご利用者76名、そのご家族192名、そして職員181名の総勢547名での久しぶりに大規模な敬老会となりました。

ゾーン・時間分けをした上で、1Fガーデンに設置された屋台（かき氷・綿あめ・ドリンク・嚙下フーズ・焼きそば・フランクフルト・射的・ヨーヨー釣り）の各ブースにご家族と一緒に患者さん・ご利用者が職員に付き添われ、思い思いに飲食やゲームを楽しんでいらっしゃいました。ある患者さんは、「久しぶりのビールだ。」と言いながら、満面の笑みをたたえながら、本当に美味しく飲んでいらっしゃいました。それを見ていたご家族が涙を浮かべながら、優しく微笑んでいらっしゃったのが、とても印象的でした。一

方、1Fリハ室では、今年も職員有志で結成された「ねりけんBAND」の演奏会を午前2回、午後2回開催しました。今年はサクソとキーボードの2名のみでの演奏となりましたが、ピンクレディーのUFOを演奏した時などは手拍子やダンスが自然に発生した他、アンコールのシュプレヒコールが巻き起こるなど、大いに盛り上がりました。患者さん・ご利用者からは口々に「感動した。」「もっと見たい。」との心からの喜びの声が聞こえてきました。館内に入り、2F病棟と3F老健では、リハビリテーション部職員有志が神輿練り歩きを行ない、お祭りムードを一段と高めていました。患者さんやご利用者にも神輿担ぎに参加いただいた時などは、患者さん・ご利用者の笑顔が満ち溢れていました。

夕方の表彰式では、病院で対象者3名（米寿2名・卒寿1名）、老健11名（米寿1名・卒寿9名・百一賀1名）の皆さんに、酒向院長より表彰状とお祝い品を手渡しました。

患者さん・ご利用者・ご家族・職員の笑顔が絶えなかった特別な一日となったことは間違いなく、参加された皆さんにとっては思い出深い敬老会となりました。



重田院長の挨拶の後、長寿表彰で6名の入院患者さんに花束を贈呈しました。その後、2組による音楽演奏でお楽しみいただきました。

1組目は高校生2人によるピアノとバイオリン演奏。陸上部のお友達2名がこの日の為に練習し、3曲披露していただきました。入院患者さんにとってはお孫さんと同年代で、皆さん目を細めて、暖かく手拍子されていました。2組目は音楽大学の学生さん3名による演奏です。入院患者さんお馴染みの曲も多く、皆さん手拍子とともに、歌詞を口ずさんでいらっしゃいました。中には目に涙を浮かべる患者さんいらっしゃり、生の音楽の力に驚きました。コロナ禍で入院患者さん全員の参加とはなりませんでしたが、皆さんの笑顔を見て、来年は更に皆さんに楽しんでいただける敬老会にしたいと思います。



今年の敬老会は4年ぶりにご家族と外部ゲストを招待し、盛大に開催することができました。

昼食会のメニューは栗ご飯、天ぷら、伊勢海老の味噌汁といった松花堂弁当をご用意。食養課が腕を振った海の幸、山の幸に皆さん大変喜ばれ、舌鼓を打っていました。

昼食後は傘寿3名、米寿2名、卒寿4名、白寿2名、百寿2名の計13名を対象に長寿の表彰を行い、余興として外部ゲストによる日本舞踊、職員によるジャンボリミッキーのダンスを披露しました。日本舞踊では色鮮やかな着物と艶やかな舞踊に皆さん引き込まれ、ジャンボリミッキーではご入居者は集団体操の時間を利用して1ヶ月前から練習しており、当日は職員総勢23人が被り物や衣装を身につけ入居者さんと共に陽気なダンスを披露すると、ご

家族はリズムよく踊る姿に驚かれるとともに、一緒に踊りだすとご家族も沢山いらっしゃいました。ご入居者、ご家族、職員からは笑顔があふれ楽しい時間となりました。

これまで遠方や感染症を理由に、なかなか会うことが出来なかったご入居者とご家族は久しぶりに楽しい時間を過ごすことが出来、「幸せホルモン」が溢れていたのではないのでしょうか。職員もまた、久しぶりの通常開催に多くの方々喜びを直接感じたことで更なるやりがいと幸せな気持ちになると共に、来年の敬老会も楽しんで頂けるよう誓いを新たにしました。



今年度のテーマは太陽、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し様々な制限が解除され、明るい兆しが見えてきたことによる希望の象徴としての太陽をテーマとし、黄色・金色・オレンジをテーマカラーとしました。また、太陽をイメージ出来る余興を考え、同じ地域で活動されているフラ教室の方たちとご縁ができて披露して頂きました。フラダンスを6曲踊って頂き、華やかで迫力もある素敵な踊りを目の前で見て頂き感動しました。

職員による余興は、昨年映像で披露した「カブス」を目の前で披露しました。カブスとはコップを持ち音楽に合わせて拍手をし、コップを打ちつけてリズムに乗るものです。「手のひらを太陽に」に合わせて看護、介護、通所職員計6名で行いました。手拍子をする際には皆さん一緒に手拍子をして下さり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



式典では、ご家族も参加され、99歳白寿のお二方を筆頭に卒寿、米寿、傘寿の方が計18名をお祝いさせて頂きました。賞状と記念品を手に記念撮影を行いました。今年にご家族と一緒に撮影することが出来た方も多くいらっしゃいました。

昼食のお祝い膳は、お造りや煮物・松茸のお吸い物など朝早くから厨房職員総出で調理した品々が並びました。皆さん美味しかったと大変喜ばれ、厨房職員に直接お礼を言って下さるご入居者もいらっしゃいました。

来年以降も盛大に敬老祝賀会を開催出来るようご入居者、ご利用者、ご家族が参加して良かった、楽しかったと言って頂き、たくさんの方々の笑顔が溢れる企画をCS委員会メンバー中心に考え実施して行きたいと思っております。

介護老人保健施設しおさい



今年度は施設内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した兼ね合いで、ご利用者の安全を第一に配慮し、急遽予定を大幅に変更し開催することとしました。手作り感のあふれた楽しさと、心温まる時間を提供することで敬愛の想いの表現を目指しました。

朝、通所ご利用者の来設時、職員手作りによるコーサーージュをプレゼントしました。胸が華やかに彩られ特別な1日を演出しました。入所では午前中のお茶の時間に合わせ、ウェルカムドリンクとしてアイス・キャラメルラテやカルピスミルクなど普段とは違う飲み物を提供し安らげる時間を提供しました。

お昼のお祝い御膳は「にぎり寿司」「天ぷら」「松茸のすまし汁」「巨峰」を提供しました。特に鰻の白焼きと鰻の蒲焼の握り寿司、

牡蠣の天ぷら、松茸のすまし汁は好評で、ご利用者は「おいしい」「香りがいい」と大変喜ばれていました。

午後の記念式典は、感染拡大に考慮し、通所ご利用者だけの開催となりました。①施設長の開式の挨拶、②長寿者披露、③記念品の贈呈、④認定こども園からのお祝いメッセージビデオ、⑤職員からのお祝いの余興、⑥事務長の閉式の挨拶のプログラムで行いました。通所では百一賀1名、卒寿2名、米寿6名、傘寿4名、喜寿5名、古希3名の計21名のご利用者に節目の表彰と記念品の贈呈を行いました。表彰後、一言頂く際には涙を流されるご利用者もあり、会場が感動に包まれました。こども園からのメッセージビデオでは、元気な子供達の歌と踊りを皆さん楽しませていました。職員の余興は、技能実習生によるマンマの踊り、講談演劇、祝いの太鼓を行い、拍手や笑い、曲に合わせて身体を動かされ、ご利用者・職員が一体となり楽しい時間を過ごすことができました。最後に集合写真を撮影し、24回目の敬老会を全員笑顔で締めくくりました。

ケアポート板橋



今年4年ぶりにご家族を招いての敬老祝賀会を実施しました。昼食は松茸御飯、天ぷらといった秋の味覚満載のお食事を提供させて頂き、「豪華でとても美味しい」と大変喜んで頂きました。式典では、節目の方の表彰を行い、100歳以上の長寿を迎えられた方は実に3名。「残さず食べる事が、長寿の秘訣です」と満面の笑みで仰っているのが印象的でした。職員からの文化的催し物としては、太鼓の演舞、書道パフォーマンスを行い、「太鼓の音が良かった」「書道も目の前で迫力があつた」など、とてもご満悦の様子でした。各フロアでの縮小した開催とはなりましたが、インドネシア介護福祉社による、インドネシア舞踏、フィリピンからは歌とギター演奏など各階趣向を凝らした演出となり、「素晴らしかった」と多くの方に拍手を送って頂きました。



グループホーム かもめの家



4年ぶりにご家族を招かせて頂いた敬老祝賀会となりました。式典では節目の3名の方を表彰させて頂き、各フロア代表者にプレゼント及び表彰状の授与をさせて頂き、ご家族と共に大変喜んで頂くことができました。地域例大祭も実に4年ぶりの開催となり、事業所1階を神酒所にしてくださるなど、地域密着型事業所として地域の方々に支えられて居ることを改めて感じ、目の前で鑑賞されたお神輿に、ご立者、ご家族も沢山の笑顔と掛け声に溢れ大盛況でした。午後は落語ボランティアを招いての催し物（落語、カッポレ、紙芝居、南京玉簾、童謡合唱）、笑顔で皆様とても楽しんでいました。昼食献立やおやつも特別であり、普段食事があまり進まない方も完食されるなど、大変好評となりました。

ケアセンター けやき



今年の敬老会は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、感染対策を行いながらご家族を招待しての開催を致しました。今回は食事をご家族と摂る事は控えさせて頂き、昼食時にご利用者と職員で乾杯し、お祝い御膳を提供させて頂きました。

通所リハビリ、通所介護、入居フロア別に式典を行いました。通所リハビリ・通所介護では70名のご利用者の方が参加し、100歳を筆頭に16名の節目のご利用者の表彰をさせて頂きました。入所フロアでは28名のご利用者の方とご家族31名（zoomで4名）が参加し、102歳を筆頭に13名の節目のご利用者の表彰、記念品の贈呈、記念写真の撮影を行いました。

その後余興として通所介護と入所フロアでは職員の手作り手品、大脱出ショーをご覧になって頂き、ボランティアの方のお祝いの歌を披露させて頂き職員がバックダンサーとして皆さま楽しんで頂きました。大脱出ショーでは男性職員が入った段ボールに剣を刺すとビックリしている方や声を上げている方がいらっしゃいました。その後女装をした職員が脱出してくると「わ～」と盛り上がり拍手喝采。お祝いの歌では以前働いていた職員がボランティアとして来られ、「祭り」「長生き音頭」を披露、手拍子や大漁旗で盛り上げると、ご利用者、ご家族皆さんの笑顔を拝見する事が出来ました。写真撮影を行いご家族との歓談の時間になると、「母も私もとても楽しませて頂きました。お祝いをして余興まで準備大変だったでしょ、本当にありがとうございました」と感謝の言葉を頂く事が出来ました。また来年も喜んで頂けるよう頑張っていきます。他、訪問看護やケアマネジャーでは節目のご利用者へご自宅にて賞状をお渡しさせて頂きました。



ひまわり在宅サポートグループ ひまわりデイサービスセンター



昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも今年は約4年ぶりに外部のボランティアの方々をお招きしての開催となりました。

ひまわりデイサービスでは敬老会期間に合わせ9月12日から玄関先に「笑顔の写真展INひまわりデイサービスセンター」として、ご利用者と職員の笑顔の写真を掲示しており、より一層華やかな雰囲気の中9月14日・16日の2日間デイサービスで敬老会を開催しました。

各日昼食に「敬老会御膳」の提供と各曜日の記念歳の方に表彰を行い、16日はメインイベントである「ひまわり敬老感謝祭」を開催。最高齢の方から古希まで節目を迎えられた7名の方を表彰し、

記念品を贈呈いたしました。最後には、震災後、スコップ三味線の演奏で石巻地方を元気づけてきたボランティアの「石巻スコップーズ」が登場。スコップ三味線は津軽地方発祥の宴会芸で昨年12月には世界大会優勝もされ、その道の最高峰の宴会芸を披露していただきました。懐かしい音楽や踊りを楽しみ、音楽に合わせた体操運動に内容は盛りだくさんであり、充実した時間を過ごしました。また、最後には職員・ご利用者も一緒に演奏を体験。終了後はアンコールで再演奏となり、大いに盛り上がりながら会を締めくくりました。どのご利用者の方々も普段以上に喜んでいただけて良い笑顔を引き出すことができました。

介護老人保健施設 しおん



本日は晴天に恵まれていたのですが、施設内は新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、残念ながらユニットでの表彰式及び余興は苦渋の決断で中止とさせていただきます。

午前中にデイケアで祝歳表彰が行われ、本日8名のご利用者が表彰され、花束としおんのタオルを贈呈しました。

昼食は敬老会メニューで、赤飯・鯛めし・刺身・天ぷら・炊き合わせ・イクラおろし・青菜のお浸し・和菓子・清汁が配膳されると、デイケアのご利用者は満々の笑みを浮かべておいしく召し上がられておりました。ご利用者は完食されている人がほとんどでした。

午後からは余興で、ボランティア3団体の予定でしたが、規模を縮小して1団体7名の夢まき座様が歌や笑点(大喜利)、大人の紙芝居などを行って、ご利用者から笑顔がたくさんあふれていました。

今回、ユニットで25名の方の祝歳表彰が中止となり、お祝いをすることができませんでした。また参加予定だった19名のご家族も参加が叶いませんでした。来年はぜひとも、ユニットのご利用者もお祝いし、笑顔あふれる敬老会にしたいと思います。

喬成会

オアシス21



2020年より新型コロナウイルス感染拡大防止のためご家族の参加を見合わせていましたが、今年は4年ぶりにご家族にも参加のご案内をさせていただき、飲食無し・マスク着用ではありましたが屋外にてご利用者との久々の再会の場を設けさせていただきました。短い時間ではありましたが、ご家族との談笑のひと時を楽しまれました。

また、例年好評のオアシス職員による踊り、獅子舞演舞・ミャンマー人技能実習生によるミャンマー舞踊のほか、花川病院の屋外イベント（職員有志によるよさこい、お神輿）に合わせてZOOMにて中継を行い、建物内でもお祭りの雰囲気を楽しんでいただけるよう工夫をいたしました。

この日の昼食は敬老会祝い膳「秋の緑州膳～心葉～」をご用意しました。栗入り赤飯、大きな海老フライ、帆立の新引粉揚げ、酒の味噌漬、いかしゅうまいに季節の果物等豪華なメニューを存分に味わわれ、皆さん笑顔でお食事を楽しまれました。

イベントの最後は米寿のご利用者4名にご長寿の表彰を行いました。代表挨拶では感極まって涙ぐまれるシーンも見られ、会場からは盛大な拍手が送られていました。

花びりか



花びりかも2020年よりご家族の参加を見合わせておりましたが、今年はご家族にも参加いただき、ご入居者との楽しいひと時を過ごしていただくことができました。

昼食は、「秋の味覚御膳」をご用意しました。今回は、ご入居者だけでなくご家族にも提供させていただき、「見た目きれい」や「美味しい」との声が多くあり大変評判でした。

午後は、職員による手品、YOSAKOI演舞、ギター演奏を披露させていただき、ご入居者からは「職員さんは芸達者だね、楽しかった」「練習大変だったでしょう」の声をいただきました。

介護老人保健施設ライフサポートひなた



敬老会の当日、長寿表彰対象者の方々に感謝と敬意を込めて賞状と手作りのお守りをお渡しさせていただきました。本年の長寿表彰対象者は、入所部門では11名、デイケア部門では24名（うち、敬老会当日に利用された方が10名）、合計35名でした。最高齢は100歳でした。

イベントは、歌自慢の看護師による歌の披露から始まり、今年は落語家2名をお迎えして落語を披露していただきました。今年はいつにご家族の方々もお招きしてご利用者はご家族と一緒に終始落語に夢中になり、笑いあり手拍子ありの時間を楽しまれました。

昼食には、特製の敬老御膳が提供され、普段とは異なるメニューに舌鼓を打ち、「美味しいね!」「これが毎日食べられたらいいな」といった言葉をいただきました。次年度以降もご家族の方々をお招きしながらの祝賀会を催せるよう、職員一同が新たに誓いました。

